

加賀に負けるわけにはいかない！ 佐々木あわら市長の 感幸戦略

『誰もがときめくあわら市！』をスローガンに

突然の市長選に出馬を要請され、平成29年の12月、家族の理解もあって県観光連盟専務を急きよ辞任し出馬を決意。翌年2月4日当選するや、次の日の5日に大雪となり、家から徒歩で市役所に到着。以後、記録的な大雪対策に一週間市長室にこもり除雪の陣頭指揮に立った。国道8号線に10^{キロ}、約1500台の自動車に60時間に及び立往生するなど全国に知られた豪雪災害

となったが、自衛隊の迅速な対応もあり無事終えられた。

秋の「福井しあわせ元気国体」開催に向け準備を進め、10月の全国障害者スポーツ大会の開会式に来県された皇太子殿下（現天皇）と金津創作の森において昼食に同席させていただいた。また、9月に上京の折、第2次内閣改造の時と重なり、直接安倍総理に会えるなど市長でなければ経験できないことであり、有り難く良き思い出となった。

1期目は人口減少、少子高齢化が進む中、10年先、20年

不祥事による辞任に伴うあわら市長選に初当選した佐々木康男氏。北陸新幹線開業に向けて芦原温泉駅周辺整備が着々と進む本県唯一の温泉地。1期目最終年度を迎えた佐々木市長にあわらのまちづくりやその思いを尋ねた。

先を見据えてお年寄りも若者も子どもも、町の人も村の人も、男性も女性も、住む人も来る人も誰もが夢や希望を持ち、ワクワク・ドキドキ・キラキラと笑顔で元気に生きるまちを目指すため、『誰もがときめくあわら市！』をスローガンに掲げた。

集落ごとにカルテ作成 誰もが憩える駅前

取り組みの一つは、各集落の実状を踏まえて、誰もがときめく集落づくりを実現する

あわら温泉駅 西口広場 和心あふれる賑わい広場



ための「まち・むらときめきプラン」。豪雪時に集落の自助共助の重要性を痛感し、市内全129集落への実態調査を行い、集落ごとに現状や課題を集約した集落カルテを作成。それを基に県の補助金も活用し、集落ごとの特色ある活動